

公益社団法人 日本地下水学会
2013 年度 第 5 回 理事会議事録

1. 開催日時：2013 年 11 月 2 日（土） 13:30～17:30

2. 開催場所： 日本工営(株) 新麴町オフィス 4F 会議室
〒102-0083 東京都千代田区麴町 4 丁目 2 番地

3. 理事総数：15 人

4. 出席理事数：15 人

○：出席、×：欠席

理事	今村 聡	○	理事	今井 久	○
理事	蛭原 雅之	○	理事	川端 淳一	○
理事	高坂 信章	○	理事	嶋田 純	○
理事	斎藤 庸	○	理事	谷口 真人	○
理事	杉田 文	○	理事	中島 誠	○
理事	徳永 朋祥	○	理事	平山 利晶	○
理事	中屋 眞司	○	理事	松山 秀明	○
理事	丸井 敦尚	○			

（事務局長 友澤 孝 ○、事務局 細川裕美子 ○）

5. 出席監事

監事	前川統一郎	○	監事	村田 正敏	○	監事	平山 光信	○
----	-------	---	----	-------	---	----	-------	---

6. 議長の氏名：代表理事（会長） 嶋田 純

定刻に、代表理事 嶋田 純 は議長席につき、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13時30分本理事会の開会を宣した。

7. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。

8. 議事録作成者：理事 今井 久

9. 理事会資料（事前配布資料としてメール送信）

理事会資料－1：公益社団法人日本地下水学会 2013 年度第 5 回理事会 議事次第

理事会資料－2：公益社団法人日本地下水学会 2013 年度第 3 回理事会 議事録（案）

理事会資料－2-2：公益社団法人日本地下水学会 2013 年度第 4 回理事会 議事録（案）

理事会資料－3：IRID への提案資料（資料－3-1～資料－3-3）および

IRID への提案が採択された場合の対応案（資料－3-4～資料－3-6）

理事会資料－4：学術会議「汚染水問題対応検討分科会」への専門家推薦に関する資料
（資料－4-1～資料－4-3）

理事会資料－5：地球惑星連合学協会長会議対応資料（資料－5-1～資料－5-2）

理事会資料－6：企画委員会資料

理事会資料－7：調査研究委員会資料 審議・報告（資料－7-1）

今後の地下水学会としての調査・研究活動のあり方検討ワーキング資料

（資料－7-2[資料-1～資料-7]～資料－7-3）

理事会資料－8：市民コミュニケーション委員会資料

理事会資料－9：広報・IT 委員会資料

理事会資料－10：総務委員会資料（資料－10-1～資料－10-5）

理事会資料－11：総務委員会資料（入会希望者資料）

理事会資料－12：総務委員会資料（平成 24 年経済センサス活動調査、総務省資料）

理事会資料－13：行事委員会資料

理事会資料－14：会計委員会資料

理事会資料－15：技術者継続教育委員会資料

理事会資料－16：男女共同参画委員会資料

【審議事項】

第 1 号議案：IRID への対応について（前川会員、今村副会長：資料－3）

- ・ IRID への提案は提案提出日 2013 年 10 月 23 日前にメール審議にて承認されたことを確認した。
- ・ IRID への提案が実施された場合の対応方針（資料－3-6）が承認された。
- ・ IRID へ対応する専門家は、嶋田会長、谷口副会長、徳永理事、丸井理事、前川会員の 5 名からなる WG にて選定することが承認された。

第 2 号議案：学術会議「汚染水問題対応検討分科会」への専門家の推薦（嶋田会長：資料－4）

- ・「海洋と地下水帯との相互作用を含む地下水シミュレーションの専門家」として、谷口副会長を推薦することに決定した。

第 3 号議案：地球惑星連合会における東日本震災セッション対応（嶋田会長：資料－5）

- ・震災以降に地下水学会が実施してきたことをベースにした報告を想定し、地下水学会単独で対応することに決定した。
- ・報告・講演対応は徳永理事と中川先生（長崎大）に依頼することとした。
- ・連合会へは杉田渉外担当理事より連絡することを確認した。

第 4 号議案：市民コミュニケーション委員会・湧水めぐり案内資料印刷費の承認（今井理事：資料－8）

- ・10月27日に開催された市民コミュニケーション委員会・湧水めぐり案内資料印刷費（約4万5千円）が市民コミュニケーション委員会当初予算とは別に支出されることが承認された。

第 5 号議案：学会事務局 PC 更新に伴う付帯支出の承認（斎藤理事：資料－9）

- ・学会事務局 PC 更新に伴うウィルス対策ソフト、データバックアップ HD 購入の支出（約 2 万円）が承認された。

第 6 号議案：会員資格喪失処分について（高坂理事：資料－14）

- ・会費 3 年間滞納者 11 名の会員資格喪失処分とすることに決定した。
- ・会費 2 年間滞納者 13 名の会誌送本を停止処分とすることに決定した。

第 7 号議案：会員資格喪失処分者の再入会時の対応について（高坂理事：資料－14）

- ・「会員資格喪失処分者」が再入会する場合は学会誌送本期間に相当する未納付会費（2 年分=14,000

円)と新年度会費(7,000円)の納入をもって再入会を認めることに決定した。

第8号議案：総務委員会の新たな体制構築に向けた活動(川端理事：資料-10)

- ・法人化等に伴う総務委員会の負担が増加していることから、他委員会等の協力による総務委員会の新たな体制構築や規定制定等を図るための活動を、川端理事に一任することが承認された。
- ・合わせて、同様な状況にある会計委員会に関しても同様な活動を、高坂理事に一任することが承認された。

第9号議案：講演会講演要旨集等の著作権・二重投稿に関する対応(川端理事：資料-10-5)

- ・現在、講演会講演要旨集の残部等は無料で希望者に配布することになっているため限定資料とは認められず、要旨集掲載事項を論文として投稿する際に二重投稿として扱われる可能性がある。このため、現行の講演会講演要旨集の残部等(CD-Rを含む)の無料配布は、暫定策として停止することに決定した。
- ・講演会講演要旨集の国会図書館への送付も停止することに決定した。
- ・今後の講演会講演要旨集の扱いや、著作権・二重投稿に関する見解を、編集委員等も加わり、総務委員会にて検討することとした。

第10号議案：新規入会希望(川端理事：資料-11)

- ・3名の新規入会希望者が紹介され、全員承認された。

【その他報告事項等】

1. 前々回および前回(第4、5回)議事録(資料-2, 2-2)
 - ・特に指摘事項無く承認された。
2. IRID対応について(今村理事、前川会員：資料-3)
 - ・IRID提案後の状況、提案の処理状況等の報告があった。
 - ・当学会からの提案が実施に移される場合の、体制案等の説明がなされた。
3. 学術会議「汚染水問題対応検討分科会」への専門家の推薦(嶋田会長：資料-5)
 - ・他学会等の対応等状況の報告、上記分科会の位置づけに関する見解が提示され、これらを加味して本学会からの推薦者を谷口副会長に決定した。
4. 行事委員会(松山理事：資料-13)
 - ・2013秋季大会の開催結果、参加人数、参加者の学生割合等が報告され、学生参加数を増やすよう協力要請が必要との意見が出された。
 - ・最優秀講演者候補が紹介され、採点結果とともに表彰委員会にて審議が移されることとなった。
 - ・2014年度の行事として、春季大会を2014年5月17or24日東大本郷キャンパスで調整中、秋季大会を2014年11月6-8日に熊本県民交流館パレア、第20回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会が2014年6月19-20日に和歌山県民文化会館で開催予定であるとの報告があった。
 - ・2014年春季大会ではポスターセッションが試験導入され、その運営に関していくつかのコメント等(ポスター掲示パネルの確保、会場スペース、ポスター・口頭の採否など)が出された。
 - ・以降の講演会に関し、福井県での開催提案が出された。
5. 企画委員会(中島理事：資料-6)
 - ・10月8日に開催されたシンポジウム「Hydraulic tomographyの動向と最近の技術動向」について、ディスカッション等有意義な会合であったとの報告がなされた。
 - ・開催予定の地下水シミュレーション(実習)講習会(11/6-7)、現場調査(揚水試験)講習会(12/3-4)

およびシンポジウム「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」（12/1）の申し込み状況の報告がなされた。

- ・会誌の特集、①「地下水流動解析手法の解析精度／検証・確証」、②「地盤沈下の現状から見る今後の地下水管理」、に関する内容及び原稿収集の進捗状況について報告があった。
- ・水循環基本法案の動向を睨んだ企画関連事業計画として、2014 年春季大会と同時開催または連続開催（前日又は翌日）で講演会企画案の報告があった。

6. 調査・研究委員会（蛭原理事：資料－7）

- ・「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出」研究 G の活動報告があった。
- ・「地下水学の名著を読む」研究 G の活動報告があった。
- ・今年度受託研究事業の内容、契約時期等条件に関する確認を実施した。
- ・「今後の地下水学会としての調査・研究活動のあり方」検討 WG における検討経過の報告がなされた。

7. 渉外委員会（杉田理事）

- ・外部情報等は適宜メールにて配信しており、特に報告事項はない。

8. 編集委員会（徳永理事）

- ・会誌掲載の記事、特集号等の見込みなど、順調に進んでいるとの報告がなされた。
- ・講演要旨集の著作権の扱い、二重投稿への対応の必要性の説明がなされ、この問題に関して総務委員会に依頼したとの報告があった。

9. 市民コミュニケーション委員会（今井理事：資料－8）

- ・横浜市旭区にて湧水めぐりが 10 月 27 日（日）に無事行われたことが報告された。
- ・上記行事等で利用できる先導の旗、メガホンを学会で保有していることが周知された。
- ・QA にて対応した学会の福島第一に対する取り組みに関する QA 内容の紹介とその QA 対応が終了したことが報告された。
- ・当委員会の活動状況・予定の報告がなされた。

10. 広報・IT 委員会（斎藤理事：資料－9）

- ・学会事務局の PC 更新に関する報告がなされた。
- ・ニフティーとの ID 契約に関する状況報告がなされた。
- ・学会 HP へのアクセスの内訳を把握できることが報告され、国別などの内訳が紹介された。
- ・広報・IT 委員会の開催状況の報告があった。

11. 会計委員会（高坂理事：資料－14）

- ・会費の 3 年及び 2 年未納者に対する処分が審議され決定した。
- ・11 月 01 日時点の会員数及び会費納入状況の報告があった。
- ・講演会要旨集のバックナンバーの扱いに関して、著作権・二重投稿の扱いと合わせて審議し、当面無料配布停止、国会図書館への送付を止めることとした。
- ・次回理事会までに来年度予算案を各委員会より提出するよう依頼がなされた。

12. 男女共同参画委員会（中屋理事：資料－16）

- ・10 月 11 日に開催された「若手交流会」の開催報告がなされた。
- ・今後の方針案として、「若手交流会」、「若手セミナー」の運営案が示され、承認された。

13. 継続教育委員会（平山理事：資料－15）

- ・地下水学会の行事と CPD の単位の報告があり、その内容について確認した。

- ・ CPD の単位認定に際して、CPD 関連行事の参加者リスト提出の必要性が説明され、リストを平山理事に提出することが周知された。
 - ・ 上記に関して、代理参加の問題が指摘され、代理参加に際しては会員・非会員の確認をすることとした。
 - ・ CPD の単位認定登録と、CPD 関連行事への参加申し込みが混同される可能性があるとの報告がなされた。
14. 総務委員会（川端理事：資料－10～12）
- ・ 総務委員会の抱える業務内容に関する説明がなされ、業務内容が多く、多岐にわたることから、総務委員会体制見直しの提案が出された。
 - ・ 総務委員会体制見直しや規約整備の検討について川端理事に一任することとなった。
 - ・ 他委員会の協力の下、著作権・二重投稿に関する検討を総務委員会で行うこととなった。
 - ・ 新規入会希望者の紹介があった。
 - ・ 平成 24 年経済センサス集計資料の紹介がなされた。
15. 会長より
- ・ 他学会誌への巻頭言等、嶋田会長の対応は理事会での承認不要であることが確認された。
 - ・ 陸水学会の「福島第一原発における凍土遮水壁設置にかかわる意見書」に対して、本学会としては関与しないことで合意した。
16. 今後の予定
- 2013 年度 第 6 回理事会
- 日時：2013 年 12 月 14 日 13 時 30 分
- 場所：日本工営(株) 新麹町オフィス 4 F 会議室
- 〒102-0083 東京都千代田区麹町 4 丁目 2 番地

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は17時30分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し代表理事及び監事が次に記名押印する。

2013 年 12 月 14 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会

代表理事：嶋田 純



監 事：前川 統一郎



監 事：村田 正敏



監 事：平山 光信

